

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和4年6月9日(2022.6.9)

【国際公開番号】WO2020/001580
 【公表番号】特表2021-529455(P2021-529455A)
 【公表日】令和3年10月28日(2021.10.28)
 【出願番号】特願2020-571445(P2020-571445)
 【国際特許分類】
 H04W28/22(2009.01)
 【FI】
 H04W28/22

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年5月31日(2022.5.31)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

ユーザデバイスにより実行される情報伝送方法であって、

物理上りリンク制御チャネルP U C C Hに対する構成情報を受信し、前記構成情報が、各P U C C Hフォーマットに対して少なくとも2つの最大符号化率M C Rを対応して構成するために使用されることと、

下り制御情報D C Iを受信し、前記D C Iが目標P U C C Hに使用されるM C Rを示す指示情報を含むことと、

前記D C Iにおける指示情報に基づいて、前記目標P U C C Hフォーマットに対応して構成した少なくとも2つのM C Rから前記目標P U C C Hに使用されるM C Rを決定することを含む

30

ことを特徴とする情報伝送方法。

【請求項2】

前記少なくとも2つの最大符号化率M C Rは、それぞれ独立した少なくとも2つの絶対最大符号化率、又は、

少なくとも1つの絶対最大符号化率及び前記絶対最大符号化率を基準とする少なくとも1つの相対最大符号化率を含む

ことを特徴とする請求項1に記載の情報伝送方法。

【請求項3】

前記指示情報が前記D C Iのフィールドに搬送されるインジケータを含み、前記インジケータが目標P U C C Hに使用されるM C Rを示すことを特徴とする請求項1に記載の情報伝送方法。

40

【請求項4】

前記指示情報が、前記D C Iの巡回冗長検査C R Cスクランブルに使用される無線ネットワークの一時識別子R N T Iを含み、前記R N T IとM C Rとが対応関係を有することを特徴とする請求項1に記載の情報伝送方法。

【請求項5】

前記D C Iにおける指示情報に基づいて、前記目標P U C C Hフォーマットに対応して構成した少なくとも2つのM C Rから前記目標P U C C Hに使用されるM C Rを決定するこ

50

とは、

第 1 の R N T I 又は第 2 の R N T I に基づいて前記 D C I の C R C をデスクランブルすることと、

前記第 1 の R N T I による前記 D C I の C R C デスクランブルが成功した場合、前記目標 P U C C H フォーマットに対応して構成した少なくとも 2 つの M C R から、前記目標 P U C C H に使用される M C R を前記第 1 の R N T I に対応する第 1 の M C R として決定することと、

前記第 2 の R N T I による前記 D C I の C R C デスクランブルが成功した場合、前記目標 P U C C H フォーマットに対応して構成した少なくとも 2 つの M C R から、前記目標 P U C C H に使用される M C R を前記第 2 の R N T I に対応する第 2 の M C R として決定することとを含み、

前記第 1 の M C R と前記第 2 の M C R のいずれも前記目標 P U C C H フォーマットに対応して構成した少なくとも 2 つの M C R に属することを特徴とする請求項 4 に記載の情報伝送方法。

【請求項 6】

前記方法は、さらに、

D C I における指示情報と M C R との対応関係は、予め構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の情報伝送方法。

【請求項 7】

第 1 の受信部と、第 2 の受信部と、決定部と、を備える前記ユーザーデバイスであって、前記第 1 の受信部は、物理上りリンク制御チャネル P U C C H に対する構成情報を受信するように構成され、前記構成情報が、各 P U C C H フォーマットに対して少なくとも 2 つの最大符号化率 M C R を対応して構成するために使用され、

前記第 2 の受信部は、下り制御情報 D C I を受信するように構成され、前記 D C I が目標 P U C C H に使用される M C R を示す指示情報を含み、

前記決定部は、前記 D C I における指示情報に基づいて、前記目標 P U C C H フォーマットに対応して構成した少なくとも 2 つの M C R から前記目標 P U C C H に使用される M C R を決定するように構成される

ことを特徴とするユーザーデバイス。

【請求項 8】

前記少なくとも 2 つの最大符号化率 M C R は、それぞれ独立した少なくとも 2 つの絶対最大符号化率、又は、

少なくとも 1 つの絶対最大符号化率及び前記絶対最大符号化率を基準とする少なくとも 1 つの相対最大符号化率を含む

ことを特徴とする請求項 7 に記載のユーザーデバイス。

【請求項 9】

前記指示情報が前記 D C I のフィールドに搬送されるインジケータを含み、前記インジケータが目標 P U C C H に使用される M C R を示す

ことを特徴とする請求項 7 に記載のユーザーデバイス。

【請求項 10】

ネットワークデバイスにより実行される情報伝送方法であって、

物理上りリンク制御チャネル P U C C H に対する構成情報をユーザーデバイスに送信し、前記構成情報が、各 P U C C H フォーマットに対して少なくとも 2 つの最大符号化率 M C R を対応して構成するために使用されることと、

前記ユーザーデバイスに下り制御情報 D C I を送信し、前記 D C I が目標 P U C C H に使用される M C R を示す指示情報を含むことと、を含み、

前記指示情報が、前記ユーザーデバイスが前記目標 P U C C H フォーマットに対応して構成した少なくとも 2 つの M C R から前記目標 P U C C H に使用される M C R を決定するために使用される

10

20

30

40

50

ことを特徴とする情報伝送方法。

【請求項 1 1】

前記少なくとも 2 つの最大符号化率 M C R は、

それぞれ独立した少なくとも 2 つの絶対最大符号化率、

又は、

少なくとも 1 つの絶対最大符号化率及び前記絶対最大符号化率を基準とする少なくとも 1

つの相対最大符号化率を含む

ことを特徴とする請求項 1 0 に記載の情報伝送方法。

【請求項 1 2】

前記指示情報が前記 D C I のフィールドに搬送されるインジケータを含み、前記インジケ

ータが目標 P U C C H に使用される M C R を示す

ことを特徴とする請求項 1 0 に記載の情報伝送方法。

【請求項 1 3】

ネットワークインターフェースとプロセッサとを含むネットワークデバイスであって、

前記ネットワークインターフェースは、プロセッサの制御により、

物理上りリンク制御チャネル P U C C H に対する構成情報をユーザーデバイスに送信し、

前記構成情報が、各 P U C C H フォーマットに対して少なくとも 2 つの最大符号化率 M C

R を対応して構成するために使用され、

前記ユーザーデバイスに下り制御情報 D C I を送信し、前記 D C I が目標 P U C C H に使

用される M C R を示す指示情報を含み、

前記指示情報が、前記ユーザーデバイスが前記目標 P U C C H フォーマットに対応して構

成した少なくとも 2 つの M C R から前記目標 P U C C H に使用される M C R を決定するた

めに使用される

ことを特徴とするネットワークデバイス。

【請求項 1 4】

前記少なくとも 2 つの最大符号化率 M C R は、

それぞれ独立した少なくとも 2 つの絶対最大符号化率、

又は、

少なくとも 1 つの絶対最大符号化率及び前記絶対最大符号化率を基準とする少なくとも 1

つの相対最大符号化率を含む

ことを特徴とする請求項 1 3 に記載のネットワークデバイス。

【請求項 1 5】

前記指示情報が前記 D C I のフィールドに搬送されるインジケータを含み、前記インジケ

ータが目標 P U C C H に使用される M C R を示す

ことを特徴とする請求項 1 3 に記載のネットワークデバイス。

10

20

30

40

50